

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年進補版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 秦野様貸施設 新築工事	階数	地上3F
建設地	藤沢市高倉字諏訪下2117番-1,2118番	構造	S造
用途地域	第1種低層住居専用地域、準住居地域、準防火地域	平均居住人員	56 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 竣工	評価の実施日	2014年12月16日
敷地面積	1,529 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	787 m <sup>2</sup>	確認日	2014年12月16日
延床面積	2,257 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★☆☆☆☆

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	計画地周辺の良好な自然環境を活かし、森をコンセプトとした緑豊かな計画	その他 0
Q1 室内環境	南西面に長く建物を配置し、開口部を多く設けることで自然採光を積極的に取り入れる計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地面積の15%以上の緑化を行い、特に景観の良い西側に低木・中木・高木をバランス良く配置した。
LR1 エネルギー	自然通風を取り入れられるように、開放できる引違窓を多く採用した。	LR3 敷地外環境 雨水の流出抑制施設を設置し、雨水排水負荷の低減に寄与している。騒音の出る空調室外機やダクトの音を騒音規制値内に納まるように計画した。
Q2 サービス性能	外装はメンテナンスが少なく済むよう、防汚性の高い材料を使用している。内部の床材については、モップで清掃がしやすいように抗菌の長尺塩ビシートを採用した。メインの風除室には3D地デッドに沿った、木製のデザイン柄を採用した。	
LR2 資源・マテリアル	発泡剤を用いた断熱材等を採用していない。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される